

# 地形環境からみた山の辺地域の古墳群と集落 — 立地と眺望 —

2023.12. 9 山の辺文化講座  
天理大学文学部 桑原久男

はじめに

令和5年度（2023年）山の辺文化会議シンポジウム「高松塚古墳と飛鳥・藤原」  
森岡秀人氏 高地性集落の研究プロジェクト

## 1. 高地性集落と前期古墳

立地の共通性

近接事例 東大寺山遺跡と東大寺山古墳

東大寺山古墳は抜群の眺望性、  
奈良盆地のほぼ全域を見渡せる →逆に、奈良盆地のどこからでも見える

## 2. 前期古墳の立地

### 1) 末永雅雄（1955） 前方後円墳の立地を5形式に区分

1. 山頂利用
2. 丘尾切断
3. 洪積台地端に築造
4. 平地に築造
5. 独立丘利用

### 2) 大塚初重（1966） 前期古墳の立地（末永分類1～3が多い）

- ① 平野を臨む山上に築造されたもの  
岡山市湯迫車塚古墳（＝備前車塚、海拔138m）  
兵庫県吉島古墳、京都府長法寺南原古墳
- ② 丘陵尾根あるいは先端部を利用したもの  
京都府椿井大塚山古墳
- ③ 周辺地形との相対的な高さは低いが緩やかな傾斜地に築造  
福岡県石塚山古墳

→ 丘陵の高低に差はあるが、丘陵地形をそのまま古墳立地の基盤として利用  
みかけのうえで古墳の存在をきわめて強く主張

→ 被葬者の関係の深い地域内で、支配地を見下ろしうるような場所を選択

### 3) 甘粕健（1975）

初期の古墳

弥生時代以来の農業生産の発展の見られる沖積平野を見下ろす高所に営まれる

隔絶した権威を有する首長のもとに強固に統合された政治的地域集団が形成  
→前期古墳の立地的特徴から、水田稲作を生産基盤に成長した支配者という被葬者像の構築

#### 4) 今尾文昭 (1987) 前期古墳の立地

北部九州・東九州・中部瀬戸内・近畿・東海・関東の各地域の実例から、三区分局域性が存在

- (A) 高地 居住適地および古墳の造営母体となった集落と隔絶  
比高差 70~80m  
弥生墳墓の立地とは異なり、分布は中部瀬戸内~大阪湾沿岸に多い
- (B) 丘陵 弥生墓の選地と同じ(伝統的な墓地空間)、分布に地域的偏重なし
- (C) 低地 集落に近接、大形の前方後円墳としては奈良盆地東南部に多い

→ 奈良盆地の前期古墳は、盆地周辺の山麓や低丘陵に分布・立地  
集落の選地と基本的に変わらないのが特徴

居住適地との比高差 50~100m以上の高燥な山頂や尾根頂部に営まれたこと  
のある他地域の前期前方後円墳と際だった違いを見せる

#### 5) 岸本道昭 (1986)

播磨・揖保川流域の前方後円墳成立期について検討

- I 類 平野を見下ろす高所である山頂部に位置するもの 吉島古墳
- II 類 平野に伸びる低平な丘陵尾根に位置するもの (II 類) 今尾の B 類

#### 5) 中塚良 (1988)

山城盆地の古墳について、立地する地形面の定性的検討  
加えて、比高と視界(眺望角)の定量的分析を行う

前期の古墳 主に丘陵・山地上に立地  
扇状地や段丘など低位の面に立地する古墳は2基のみ

中期古墳の立地 段丘上・扇状地上の古墳が大幅に増加

※高地性集落が廃絶した上に前期古墳が築かれた具体例

- ・北山遺跡と元稻荷古墳(京都府向日市、比高 24m)
- ・玉手山遺跡と玉手山古墳群(大阪府八尾市、比高 82m)
- ・富雄丸山古墳とその下層遺跡(奈良県奈良市、比高 27m)
- ・弁財天山遺跡と弁財天山古墳群(福井県鯖江市、比高 90m) など

立地については、古墳は今尾 B 類・岸本 II 類が多い。

### 3. 奈良盆地の前期古墳

#### 1) 末永雅雄 (1951) 大和地方の古墳

平野の周辺いわゆる青垣山を成す丘陵とその傾斜変換線に多く築かれる  
平野の東、北、西に約 150~160 の前方後円墳を主とする分布がある  
若草山頂の鶯塚をはじめ桜井までの間に、丘陵から平野への傾斜変換線上に累々と分布  
とくに、丹波市柳本の地域が壮観

## 2) 伊達宗泰 (1963)

奈良盆地 総数 4515 基の古墳が認知  
山頂、尾根上、尾根端、丘陵(台地)上、丘陵(台地)端、山麓斜面、平坦地残丘など  
水田地域よりも、山林、畑地、果樹園などに多い  
被葬者が生産地域に君臨  
古墳の営造が生産地域を消耗することなく、生産地域を俯瞰しうる影響の地に立地

→古墳の立地する地形に注意を払いながらも、分布図では等高線のみ表示

## 3) バーンズ・ジナ・リー (1982)

航空写真から地形図を作成  
古墳時代の前方後円墳は、100m等高線で区分した地図では自然地形との関連が理解不能  
航空写真の立体視による地形復元図を用いると、高地帯に大部分が位置する

## 4) 伊達宗泰 (1999)

地形区分図に古墳をマッピング  
古墳築造の背後に「水支配地域」を設定  
「大和古墳群」「柳本古墳群」「箸中古墳群」を「おおやまと古墳集団」と大きくまとめて理解

## 5) 泉武 (2003)

古墳と微地形の関係を検討  
箸中古墳群は扇状地に立地  
萱生古墳群・柳本古墳群は谷地形が複雑に入  
渋谷向山古墳は地形的に無理をして築造

## 6) 高橋学 2003

大規模な前方後円墳は、造営された場所の地形環境から、二つのタイプに分けられる  
① 活断層とかかわりがある地形を利用して造営：古墳時代前期の大型前方後円墳  
② 更新世段丘面に造営：古墳時代中期の巨大前方後円墳が典型

近畿地方 特徴的な地形配列

伊勢から和歌山にかけて東西に伸びる一直線の中央構造線、  
日本列島を内帯と外帯に分ける → 南北で地質構造が全く異なる

近畿三角形(近畿トライアングル)

福井県の敦賀を頂点とし、中央構造線を底辺とした三角形に山地や谷が配列

西端 北東-南西方向の山地や谷(淡路島-六甲山地)

中央部 上町台地、生駒・金剛山地、笠置山地、鈴鹿山地が南北に連なる  
その間に、河内平野、京都・奈良盆地、琵琶湖・伊賀上野盆地が挟まる

東端 北西-南東方向の山地(養老山地)

これらの山地は 1000mに満たない場合がほとんど

→規模の似た山地と盆地（平野・海）が交互に繰り返す。

西から順に、淡路島、大阪湾、上町台地、河内平野、生駒・金剛山地、京都・奈良盆地、京都・大阪盆地、笠置山地、琵琶湖・伊賀上野盆地、鈴鹿山地、伊勢湾と配列される山地と盆地は、いずれも高角逆断層で画される（六甲変動）

東西からの地殻の圧縮は活断層の活動として造山・造盆地活動が現在も進行中

→兵庫県南部地震もその一部

奈良盆地と京都盆地はほぼ一連の窪み

→奈良盆地の東部を限る春日山断層崖は、京都盆地東部の花折断層に続く

ケルンパッド：山地の一部が活断層によって山体から切り離された小山状の地形

→山地本体と比べると標高は低い、周囲から孤立しているため見晴らし良好

→大和古墳群・柳本古墳群は、ケルンパッドを利用した典型的な例

ケルンコルン：活断層の存在により地質的に弱く、雨などで浸食されて凹地を形成

#### 4. 奈良盆地東縁部の古墳

1) 纏向遺跡、 箸墓古墳と纏向古墳群

2) 柳本古墳群 行燈山古墳、渋谷向山古墳  
黒塚古墳

3) 大和古墳群 西殿塚古墳  
中山大塚古墳、下池山古墳、ヒエ塚古墳、馬口山古墳

4) 柚之内古墳群 西山古墳

奈良盆地東南部の地域区分

伊達宗泰の「水支配地域」

大和の六御県（みあがた） 律令制以前の地域区分

「やまと」と「おおやまと地域」

〈参考文献抄〉

甘粕健 1975 「古墳の形成と技術の発達」『岩波講座日本歴史1』原始および古代1、岩波書店

泉武 2003 「大和における前期古墳の立地と構造」『大和の古墳I』新近畿日本叢書、大和の考古学第2巻

今尾文昭 1987 「高地・丘陵・低地の前期古墳と地域性」『考古学と地域文化』同志社大学考古学シリーズ  
(のち今尾 2009 『古墳文化の成立と社会』古代日本の陵墓と古墳1、青木書店、所収)。

大塚初重 1966 「古墳の変遷（近藤義郎・藤澤長治編『日本の考古学IV』古墳時代（上）、河出書房新社

岸本道昭 1986 「前方後円墳成立期の播磨・揖保川流域」『考古学研究』第33巻第3号、考古学研究会

桑原久男 2023 「前期古墳の立地と高地性集落」『古代文化』第74巻第4号、古代学協会

末永雅雄 1955 「占地による前方後円墳の形式分類」『関西大学文学論集』創立70周年記念特輯

高橋学 2003 「前方後円墳の地形環境」『平野の環境考古学』古今書院

伊達宗泰 1963 「遺跡分布よりみた古代地域の考察—奈良盆地の場合—」『近畿古文化論攷』榎原宇個学研究所

伊達宗泰 1999 『「おおやまと」の古墳集団』学生社

岸本道昭 「前方後円墳成立期の播磨・揖保川流域」『考古学研究』第33巻第3号、岡山、考古学研究会、1986年)。

中塚良 1988 「山城盆地における古墳立地の検討」(『物集女車塚』向日市埋蔵文化財調査報告書第23集

坂靖 2009 「ヤマト王権とミヤケ」『古墳時代の遺跡学—ヤマト王権の支配構造と埴輪文化—』雄山閣

バーンズ・ジナ・リー 1982 「地形復元と遺物出土地の最近隣法による解析—奈良盆地の場合—」『考古学と自然科学』第15号、日本文化財科学会



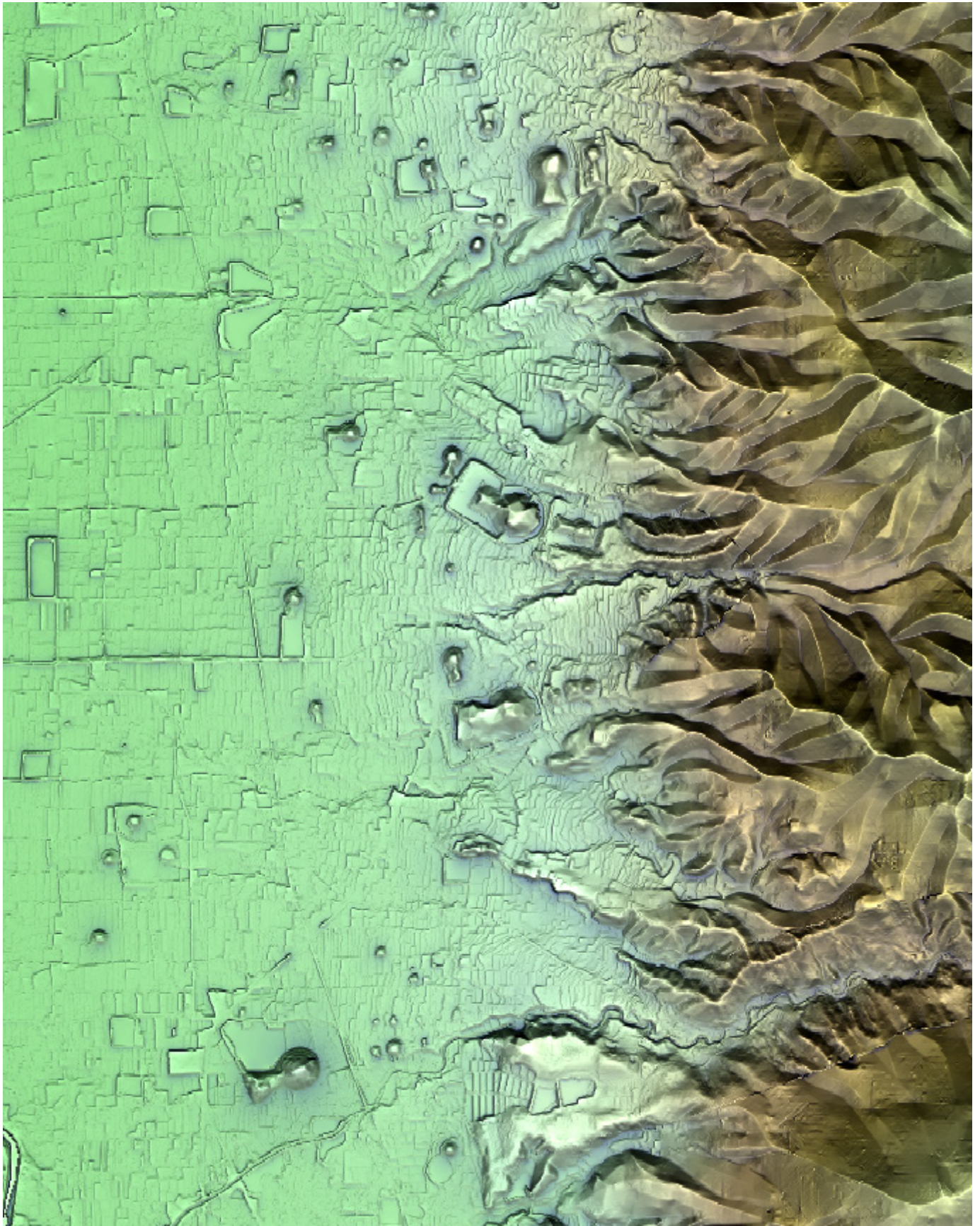


図1. 奈良盆地東縁部の地形（カシミール3D）で作成

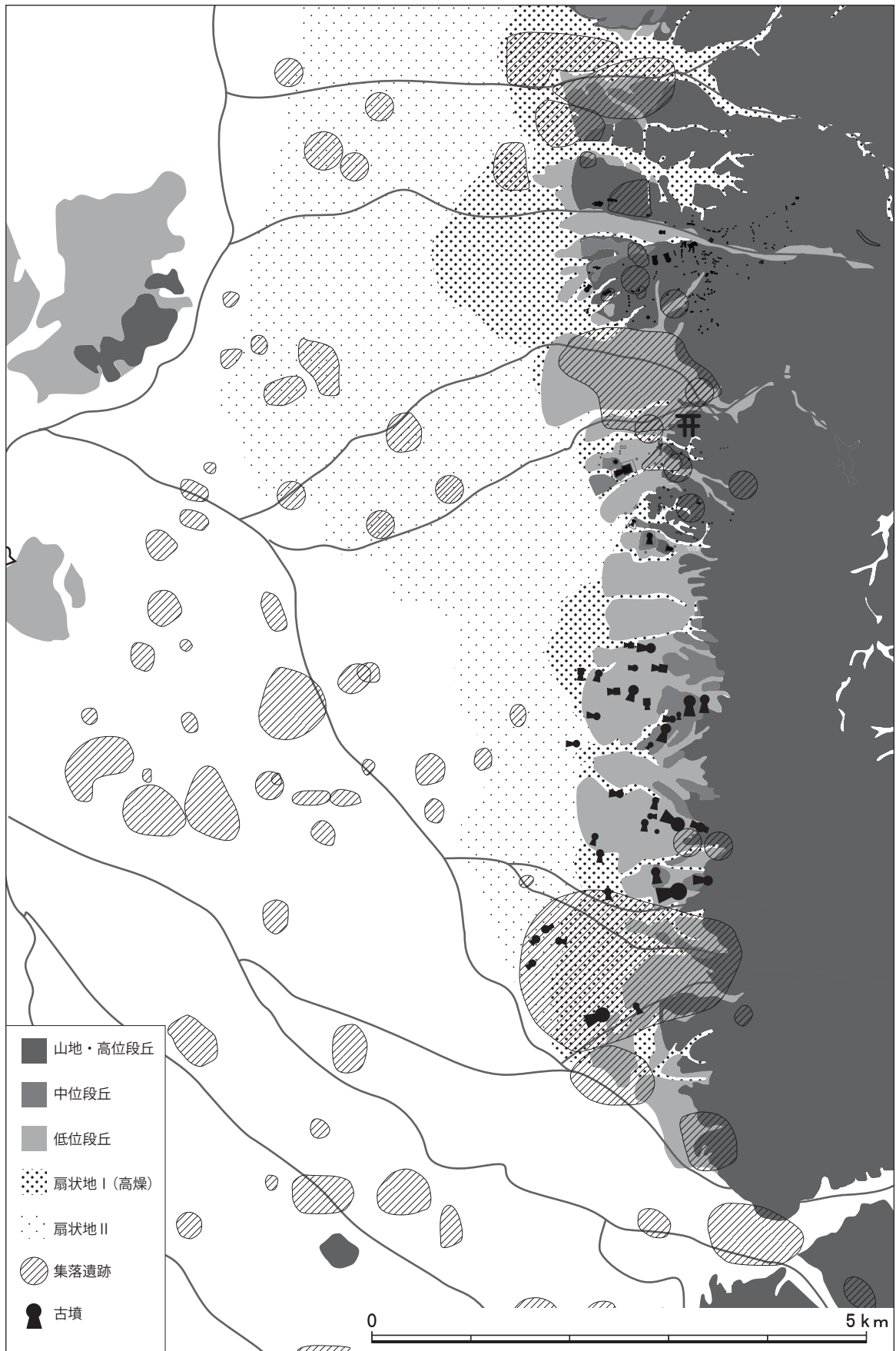


図2. 奈良盆地東縁部の地形環境と古墳群・集落